

自 2024年4月 1日  
至 2025年3月 31日

## 2024年度 事業報告書

公益財団法人 情報通信学会

## 2024年度事業報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

### 概況

2024年度も前年度に引き続き従来の対面での学会行事を主として開催しつつも、これまでに培ったノウハウ等を活用し、オンラインでの学会行事をあわせて開催した。引き続きICTを活用した学会活動を活発に行っていく。また、学会の国際化の取り組みの一つである英文ブックシリーズ「Advances in Information and Communication Research」についても、第6巻を出版し、次年度以降も継続して出版予定である。

財政面に関しては、収支状況が改善されたかにみえるが、常勤職員1名の産休及び育休などによる一時的な要因であり、経費等については引き続き見直しを行っていく。

### I 学術大会、国際フォーラムの開催事業（公益目的事業1）

#### 1. 2024年度春季（第50回）及び2024年度秋季（第51回）情報通信学会大会

2024年度春季（第50回）情報通信学会大会は、6月29日（土）・30日（日）の2日間、明治大学中野キャンパス（東京都中野区中野4-21-1）にて開催した。個人研究発表として学生セッション（アーリーバード）発表及び一般セッション発表、研究会による研究会報告、並びに総務省の特別報告が行われた。また、個人研究発表学生セッションにおいて優秀な2発表に対しアーリーバード発表賞を贈った。本大会は「情報通信月間」の参加行事である。参加者は133名。

2024年度秋季（第51回）情報通信学会大会を12月7日（土）、オンライン（Zoom Cloud Meetings）を利用して開催した。個人研究発表として学生セッション（アーリーバード）発表及び一般セッション発表、研究会による研究会報告並びに総務省の特別報告が行われた。また、個人研究発表学生セッションにおいて優秀な1発表に対しアーリーバード発表賞を贈った。参加者は74名。

\*プログラム等詳細は別紙1

#### 2. 2024年度春季（第50回）国際コミュニケーション・フォーラム及び2024年度秋季（第51回）国際コミュニケーション・フォーラム

2024年度春季（第50回）国際コミュニケーション・フォーラムは、6月29日（土）、公益財団法人KDDI財団及び一般財団法人デジタル政策財団との共催、公益財団法人電気通信普及財団及び情報通信月間推進協議会との協賛で、明治大学中野キャンパス（東京都中野区中野4-21-1）にて開催した。テーマを「能登半島地震 震災対応で放送・通信は進化しているか」とし、湯本博信氏（総務省 大臣官房総括審議官（情報通信担当））に基調講演をいただいた。引き続き、岡本達生氏（株式会社テレビ金沢 報道制作局 報道部長）、垣内基義氏（KDDI株式会社 技術企画本部 衛星統括部 部長）、重田真一氏（西日本電信電話株式会社 災害対策室 担当課長）、谷脇康彦氏（デジタル政策フォーラム幹事）に登壇いただき、ショートプレゼンテーション及びディスカッションが行われた。モデレーターは田村和人氏（情報通信学会 事業企画委員会 副委員長／東京経済大学コミュニケーション学部 教授）が務めた。

本フォーラムは「情報通信月間」の参加行事である。参加人数は69名。

2024年度秋季（第51回）国際コミュニケーション・フォーラムは、2月6日（木）、公益財団法人KDDI財団・一般財団法人デジタル政策財団との共催、公益財団法人電気通信普及財団の協賛で、オンライン（Zoom ウェビナー）を利用して開催した。タイトルを「情報空間の変容」とし、大澤健氏（総務省情報流通行政局情報流通振興課長）、國領二郎氏（慶應義塾大学総合政策学部教授）、安野智子氏（中央大学文学部教授）に登壇いただき、ショートプレゼンテーションをいただいた。引き続き登壇者によ

るパネル・ディスカッションが行われた。モデレーターは山口真一氏（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授／情報通信学会 事業企画委員会委員）が務めた。参加人数は165名。

\*プログラム等詳細は別紙2

### 3. 2024年度関西大会

2024年度関西大会は、2025年1月13日（月・祝）に、立命館大学大阪いばらきキャンパス・H棟2階「H221」にて開催した。「デジタルネイティブ時代の大学における情報通信の教育をめぐって」をテーマとし、高橋利枝氏（早稲田大学文学学術院教授）に基調講演をいただいた後、伊藤耕太氏（博報堂生活総合研究所上席研究員）、岩崎千晶氏（関西大学教育推進部教授）、熊谷秀之氏（立命館大学入学センター事務部長）にショートプレゼンテーションをいただいた。引き続き伊藤耕太氏、岩崎千晶氏、熊谷秀之氏に加え、パネリストとして高橋啓爾氏（西日本電信電話株式会社 総務人事部プロフェッショナル人材部門採用人事担当 担当部長）が加わり、パネル・ディスカッションが行われた。モデレーターは北村順生氏（立命館大学映像学部教授／情報通信学会関西センター委員会 副委員長）が務めた。参加人数は28名。

\*プログラム等詳細は別紙3

\*登壇者の所属先・肩書はいずれも開催時点の役職を記載（以下、大会等の登壇者について同じ。）

## II 研究会等実施、機関誌等刊行、研究顕彰事業（公益目的事業2）

### 1. 研究会・ワークショップの開催

以下の12の研究会が活動を予定していたが、一部研究会開催中止もあり、年間計27回の研究会がオンラインもしくはリアル開催された。ワークショップについては、主催が一般社団法人CiP協議会、共催をデジタル政策フォーラム及び当学会として8回実施した。

また総務省情報通信政策研究所の学術雑誌『情報通信政策研究』の「立案担当者解説」という執筆カテゴリーの動画化について検討を行い、会員向けに当学会YouTubeチャンネルにてシリーズで公開した。

#### <研究会>

- ① 情報社会研究会 （0回開催）
- ② 情報行動研究会 （2回開催）
- ③ モバイルコミュニケーション研究会 （4回開催）
- ④ 情報知財研究会 （0回開催）
- ⑤ 情報通信経済法学会研究会 （4回開催）
- ⑥ コンテンツビジネス研究会 （1回開催）
- ⑦ 災害情報と法と経済に関する研究会 （5回開催）
- ⑧ AIネットワーク法・政策研究会（1回開催）
- ⑨ デジタル・エコシステム研究会 （1回開催）
- ⑩ 次世代ネット政策研究会（2回開催）
- ⑪ 放送制度研究会（5回開催）
- ⑫ インターネット政治研究会（2回開催）

#### <ワークショップ>

- ・情報通信ワークショップ（8回開催）

\*研究会および情報通信ワークショップの詳細は別紙4

## 2. 情報通信学会誌及び英文ブックシリーズの発行

投稿論文、投稿論説、寄稿論文及び学会大会と国際コミュニケーション・フォーラムの講演録等を掲載した情報通信学会誌第42巻第1号～第4号（150号～153号）を発行した。なお、第1号・第2号（150号・151号）及び第3号・第4号（152号・153号）は合本による発行としているが、第3号・第4号の合本号については、2025年4月の発送となった。電子媒体は、毎号をJ-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsicr/-char/ja/>) において公開している。

発行部数は800部であり、会員に送付されるほか、41団体が定期購読を行っている。

また、英文ブックシリーズ「Advances in Information and Communication Research」については、2024年11月に第6巻「The Impact of Cloud Computing on the Japanese Macroeconomy」が出版された。

\*情報通信学会誌各号及び英文ブックシリーズの詳細は別紙5

## 3. 論文賞の授与

2023年度発行の学会誌に掲載された論文の中から厳正な選考が行われた。その結果2024年度春季（第50回）学会大会総会において、2023年度（第25回）情報通信学会論文賞が授与された。優秀賞1編、佳作1編。

\*2023年度（第25回）情報通信学会論文賞の詳細は別紙6

## III 管理部門

2024年度は、常勤職員1名で学会事業活動を支えた。

収支においては、学会行事や会議等がオンラインにて開催されることが主となったことと、常勤職員1名が産休及び育休期間であったため人件費に関わる支出が大幅減となったことから、一時的に改善されたかのように見える。しかしながら会員からの会費収入は減少していることから、今後も引き続き事業費の見直し、会員数の増強等に取り組み、適正かつ効率的な事業運営に努める。

### 1. 会員の増減

2024年4月1日現在の会員数は、正会員（個人）562名、正会員（団体）1団体、学生会員11名、特別会員80名、賛助会員33団体であった。2024年度内に正会員（個人）20名（内1名は学生会員からの種別変更）、特別会員1名の入会があったものの、正会員（個人）42名、学生会員8名（内1名は正会員（個人）への種別変更）及び特別会員1名の退会があり、正会員（個人）、学生会員および特別会員を合わせた個人会員数は30名減の645名となった。引き続き個人会員及び賛助会員の増強に向けて、役員を中心に入会の働きかけを行う。

\*会員の増減状況及び会員種別構成については附属明細書に記載する。

### 2. 収支状況

2024年度正味財産増減計算書の経常収益計は18,064,947円、経常費用計は16,382,744円となった。経常収益のうち受取会費は15,839,300円、事業収益は765,040円であった。経常費用においては事業費が11,810,031円、管理費が4,572,713円であった。正味財産の期末残高は前年度より534,703円増の90,454,960円となった。

### 3. 評議員会及び理事会の開催

2024年度は、Zoom Cloud Meetingsを利用して、評議員会を2回、理事会を4回、常任理事会を2回開催した。また、今後の学会運営について常任理事会及び理事会において検討が行われ、事業費の見直し、会員の増強への取り組みを含め、今後の学会の方針及び事業体制等が話し合われた。

\*評議員会、理事会、常任理事会の詳細は別紙7

### 4. 委員会等の開催

研究企画委員会、事業企画委員会、編集委員会、関西センター委員会がそれぞれ別紙のとおり開催された。委員会においても、メーリングリストやZoom Cloud MeetingsやSlackを利用したオンライン会議や書面会議による検討及び議決を行った。

- ・研究企画委員会 (4回開催)
- ・事業企画委員会 (2回開催)
- ・編集委員会 (5回開催)
- ・関西センター委員会 (3回開催)
- ・英文ブックシリーズ編集委員会 (2回開催)

\*委員会等の詳細は別紙8

## 事業報告の附属明細書

### 1. 会員の増減

#### 【2024年度中の会員増減状況】

	正会員 (個人)	正会員(団体)		学生 会員	特別 会員	賛助会員		合計	
		団体数	口数			団体数	口数	個人	団体 (口数)
2024年4月1日 現在報告会員数	584	1	3	11	80	33	118	675	34 (121口)
年度内 増減	入会	20	0	0	1	0	0	21	0
	退会	△42	0	0	△8	△1	0	△51	0
	増減計	△22	0	0	△8	0	0	0	△30
2025年3月31日現 在報告会員数	562	1	3	3	80	33	118	645	34 (121口)

## 2. 評議員・理事・監事

2024年度の評議員、理事及び監事の名簿は以下のとおりである。

### 評 議 員

	氏 名	所 属
評議員	井上 泰浩	広島市立大学 国際学部 教授 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで
同	神野 新	株式会社情報通信総合研究所 主席研究員 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで
同	川崎 賢一	駒澤大学 名誉教授 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで
同	児玉 俊介	一般社団法人電波産業会 専務理事 *任期は2021年6月13日から2025年6月定時評議員会の日まで
同	西田 好輝	日本電気株式会社 政策渉外部 担当部長 *任期は2023年6月13日から2025年1月16日まで
同	菅谷 実	慶應義塾大学 名誉教授 *任期は2021年6月13日から2025年6月定時評議員会の日まで
同	辻 正次	大阪大学 名誉教授/兵庫県立大学 名誉教授/神戸国際大学 名誉教授 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで
同	林 秀弥	名古屋大学大学院法学研究科 教授 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで
同	廣松 毅	東京大学 名誉教授/情報セキュリティ大学院大学 名誉教授 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで
同	北條 仁康	一般財団法人マルチメディア振興センター 専務理事 *任期は2023年7月14日から2026年6月定時評議員会の日まで
同	山下 東子	大東文化大学 経済学部 特任教授 *任期は2021年6月13日から2025年6月定時評議員会の日まで
同	山田 肇	東洋大学 名誉教授/特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム 理事長 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで

(五十音順・敬称略)

## 理 事

(任期 2023年6月13日から2025年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
会長	内山 隆	青山学院大学総合文化政策学部 教授
副会長	実積 寿也	中央大学総合政策学部 教授
同	鈴木 茂樹	株式会社横須賀リサーチパーク 代表取締役社長
同	三友 仁志	早稲田大学国際学術院大学院アジア太平洋研究科 教授
常務理事	岡田 朋之	関西大学総合情報学部 教授
同	菊池 尚人	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任教授
同	新保 史生	慶應義塾大学総合政策学部 教授
同	田中 絵麻	明治大学国際日本学部 准教授
理事	飯塚 留美	一般財団法人マルチメディア振興センター 調査研究部 研究主幹
同	河合 伸悟	東京情報デザイン専門職大学情報デザイン学部 教授
同	河島 伸子	同志社大学経済学部/経済学研究科 教授
同	木村 幹夫	一般社団法人日本民間放送連盟 研究所長
同	小泉 真理子	京都精華大学マンガ学部 教授
同	高口 鉄平	静岡大学学術院情報学領域 教授
同	三本松 憲生	株式会社情報通信総合研究所 ICT リサーチ・コンサルティング部 主任研究員
同	穴倉 学	長崎大学経済学部 教授
同	庄司 昌彦	武蔵大学社会学部 教授
同	松前 恵環	駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部 准教授
同	村上 陽亮	株式会社 KDDI 総合研究所 執行役員 兼 シンクタンク部門長
同	渡辺 健策	NHK放送文化研究所 所長 *任期は2023年7月14日から2025年6月定時評議員会の日まで

(五十音順・敬称略)

## 監 事

(任期 2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
監 事	後藤 篤二	一般財団法人日本データ通信協会 専務理事
同	山條 朋子	株式会社 KDDI 総合研究所 シンクタンク部門 エキスパート

(五十音順・敬称略)

\*評議員、理事及び監事の所属先はいずれも2025年3月31日現在の役職を記載

## 2024 年度春季（第 50 回）情報通信学会大会

開催日程 2024 年 6 月 29 日（土） 10：30～14：20

6 月 30 日（日） 10：00～15：25

場所 明治大学中野キャンパス高層棟（東京都中野区中野 4-21-1）

主催 公益財団法人情報通信学会

協賛 情報通信月間推進協議会 ＊情報通信月間参加行事

### ○プログラム

個人研究発表（アーリーバードの部、一般の部）、研究会報告、特別報告、総会）

### <個人研究発表>

#### 学生の部（アーリーバード）

1. INFLUENCING FACTORS OF ONLINE POLITICAL EXPRESSION: A SYSTEMATIC REVIEW  
Mai Thi Dang Thu（広島市立大学大学院）
2. 公益ニュースを支援する諸手法の効果に関する考察 岡本洋太郎（駒澤大学大学院）
3. 視覚障害者に危険水位情報を伝達する通知アプリの開発 黄鉦溟（芝浦工業大学大学院）
4. インターネット上における自己開示が居場所感に与える影響 藤井美里（立命館大学大学院）、寶雪（立命館大学）
5. 『踊ってみた』がネットカルチャーとして残っていくために必要なものは何か 小泉文（武蔵大学大学院）
6. 都市 OS の経済分析 ―情報信託機能を備えた都市 OS についての定量的検討― 守木悠太郎（静岡大学大学院）

#### 一般の部

1. オープンソースにおけるサプライチェーン攻撃 八田真行（駿河台大学）
2. Can news media counter a disinformation campaign? A case study of disinformation over the release of treated water from the Fukushima Daiichi power station John W. Cheng（津田塾大学）、久田有里子（元早稲田大学）、三友仁志（早稲田大学）
3. 乳幼児・児童のメディア利用動向 森下真理子（株式会社電通）、橋元良明（東京大学）
4. 大学生はステルスマーケティングをどのように捉えているのか？―フォーカスグループインタビューを用いた探索的研究― 吉見憲二（成蹊大学）、藤代裕之（法政大学）
5. ネットワーク社会における「若者の心理的適応」に関する示唆的研究 ―音楽コンテンツにおける若者の消費者行動を中心に― 中川晃（静岡文化芸術大学）
6. 都道府県におけるソーシャルメディアアカウント運用方針策定の現状 本田正美（関東学院大学）
7. 自治体システム標準化における「運用経費等 3 割減」論の考察 庄司昌彦（武蔵大学）
8. 中国の科学技術イノベーションにおける情報通信産業の政策形成 華金玲（慶應義塾大学）
9. 諸外国における周波数管理の新たなアプローチ 山條朋子（KDDI 総合研究所）
10. 米国で相次ぐ生成 AI に対する著作権侵害訴訟の行方～過去の代表的フェアユース判決を手掛かりとして 城所岩生（国際大学）

11. 人間の習性を踏まえた政策アーキテクチャを考える—自主・共同規制体制における啓発教育の在り方の再考— 齋藤長行（仙台大学）

<アーリーバード発表賞：2件>

1. INFLUENCING FACTORS OF ONLINE POLITICAL EXPRESSION: A SYSTEMATIC REVIEW

Mai Thi Dang Thu（広島市立大学大学院）

2. 都市 OS の経済分析 —情報信託機能を備えた都市 OS についての定量的検討—  
守木悠太郎（静岡大学大学院）

<特別報告>

1. 令和5年度 通信利用動向調査について

報告者：川村一郎（総務省 情報流通行政局 情報通信政策課 情報通信政策総合研究官）

<研究会報告>

1. インターネット政治研究会

テーマ：日本における偽・誤情報対策の現状と課題

報告1：「インターネット上の偽・誤情報に関する総務省の主な取組」

恩賀一（総務省情報流通行政局情報流通適正化推進室室長）

報告2：「もう一つの偽情報対策—流言は知者に止まる」

田中辰雄（横浜商科大学教授／国際大学 GLOCOM 主幹研究員）

討論者：前嶋和弘（上智大学）、小笠原盛浩（東洋大学） 司会者：清原聖子（明治大学）

2. コンテンツビジネス研究会

テーマ：コンテンツとしてのアイドル：可能性と課題

報告者：香月孝史（日本大学芸術学部非常勤講師）、上岡磨奈（慶應義塾大学文学部非常勤講師）

検討者：関根禎嘉（慶應義塾大学大学院文学研究科） 司会者：大場吾郎（佛教大学）

3. 情報行動研究会

テーマ：子どもへのアンケート調査からみる GIGA スクール構想の課題

報告者：田島祥（東海大学准教授）、山岡あゆち（東京大学特任講師）、

劉沫好（東京大学博士課程学生）、大野志郎（東京大学特任准教授）

討論者：松本留奈（ベネッセ教育総合研究所） 司会者：大野志郎（東京大学特任准教授）

4. 放送制度研究会

テーマ：アジアの放送制度—日中韓の制度比較

報告者：黄 仙恵（城西国際大学教授）、劉佳（中国 内江師範学院新聞学院副院長）

討論者：森由美子（東海大学 教授） 司会者：菅谷実（慶應義塾大学名誉教授）

5. モバイルコミュニケーション研究会

テーマ：リモートエスノグラフィの実践と課題

報告者：大戸朋子（東京医科大学）

討論者：松下慶太（関西大学） 司会者：伊藤耕太（関西大学非常勤講師）

## 2024年度秋季（第51回）情報通信学会大会

開催日程 2024年12月7日（土）10：40～15：50  
場所 オンライン開催（Zoom Cloud Meetings を利用）  
主催 公益財団法人情報通信学会

### ○プログラム

個人研究発表（アーリーバードの部、一般の部）、研究会報告、特別報告

#### <個人研究発表>

##### 学生の部（アーリーバード）

1. オンラインおよびオフラインにおける「居心地の良い場所」に求める条件  
藤井美里（立命館大学院生）、寶雪（立命館大学）
2. 「踊ってみた」動画における「プロ化」傾向分析  
小泉文（武蔵大学院生）
3. オンラインゲームにおける「ギルド」の意義と変遷  
呉昊天（駿河台大学院生）、八田真行（駿河台大学）
4. アバター技術による故人復活に対する社会的受容態度の分析—日本科学未来館での市民参加型ワークショップから—  
相澤巧人（慶應義塾大学院生）、畠山記美江（慶應義塾大学）
5. 中国における欺瞞的マーケティングに対する消費者の態度と対応行動  
LIU ZHIBO（文教大学院生）、石井健一（文教大学）
6. 2024年東京都知事選挙における報道の比較—非主流候補を巡る言説の分析—  
梶山佑（名古屋大学院生）、山本竜大（名古屋大学）

##### 一般の部

1. 北欧の報道助成制度の手法に関する考察  
岡本洋太郎（駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ・ラボラトリ）
2. ニュースメディアの信頼向上の取り組み—欧州における AFP と yle を事例に—  
藤代裕之、井上直樹（法政大学）
3. ファースト&スロー：二重過程理論からみる政府規制、自主規制、共同規制 —ICT リテラシー政策を補完する行動インサイトとブーストの可能性—  
齋藤長行（仙台大学）
4. 通信・放送インフラの議論における OTT(プラットフォーム)視点の必要性  
鍋島公章（J ストリーム）
5. 海外のモバイル市場におけるインフラシェアリングの事例と政策動向  
山條朋子（KDDI 総合研究所）
6. 教育 ICT 政策に関する経緯と考察  
大手英明（中央大学）
7. メディア環境変化と公共放送の便益—私的便益と租税的負担を巡って—  
宍倉学（長崎大学）、春日教測（東洋大学）
9. 視聴者エンゲージメントを通じたローカル放送支援の可能性  
三友仁志（早稲田大学）、大塚時雄（秀明大学）

10. COARA の活動史とその評価—ICT を活用した地域イノベーションにおける先駆的事例の分析—  
尾野徹（NPO 観光コアラ）、庄司昌彦、菊地映輝（武蔵大学）

<アーリーバード発表賞：1 件>

1. アバター技術による故人復活に対する社会的受容態度の分析—日本科学未来館での市民参加型ワークショップから—  
相澤巧人（慶應義塾大学院生）、畠山記美江（慶應義塾大学）

<特別報告>

1. 令和 6 年度版 情報通信白書の概要  
報告者：鈴木健太郎（総務省 情報流通行政局 情報通信政策課情報通信経済室長）

<研究会報告>

1. 放送制度研究会  
テーマ：ドイツの放送制度  
発表者：杉原周治准教授（愛知県立大学）  
テーマ：フランス放送制度の新展開—フランス議会下院文化教育委員会『公共放送の将来に関する調査報告書』（2023 年 6 月 7 日）を素材として—  
発表者：波多江悟史准教授（愛知学院大学法学部）

## 2024年度春季（第50回）国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程 2024年6月29日（土）15:00～17:30  
場所 明治大学中野キャンパス高層棟 307 教室（東京都中野区中野 4-21-1）  
テーマ 「能登半島地震 震災対応で放送・通信は進化しているか」  
主催 公益財団法人情報通信学会  
共催 公益財団法人 KDDI 財団、一般財団法人デジタル政策財団  
協賛 情報通信月間推進協議会、公益財団法人電気通信普及財団 \*情報通信月間参加行事  
後援 総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、富士通株式会社、日本電気株式会社、株式会社日立製作所、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、NHK、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、一般社団法人電波産業会、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般財団法人情報法制研究所、デジタル政策フォーラム

### ○プログラム

開会挨拶 内山隆 （情報通信学会 会長／青山学院大学総合文化政策学部 教授）

基調講演： 湯本博信 （総務省 大臣官房総括審議官（情報通信担当））

ショートプレゼンテーション及びディスカッション

パネリスト： 岡本達生 （株式会社テレビ金沢 報道制作局 報道部長）

垣内基義 （KDDI 株式会社 技術企画本部 衛星統括部 部長）

重田真一 （西日本電信電話株式会社 災害対策室 担当課長）

谷脇康彦 （デジタル政策フォーラム 代表幹事）

モデレーター： 田村和人 （情報通信学会 事業企画委員会 副委員長／東京経済大学 コミュニケーション学部 教授）

### <概 要>

今般の能登半島地震における現時点での情報流通を検討するべく、「能登半島地震 震災対応で放送・通信は進化しているか」を開催し、大規模震災時におけるインフラ、プラットフォーム、端末、コンテンツの在り方や確保方策についての報告およびディスカッションを行う。さらに、検討をふまえて政策的な提言を行うことを視野に議論を深めた。

## 2024年度秋季（第51回）国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程 2025年2月6日（木）18:00～20:00  
場所 オンライン開催（プラットフォーム；Zoom ウェビナー）  
テーマ 「情報空間の変容」  
主催 公益財団法人情報通信学会  
共催 公益財団法人 KDDI 財団、一般財団法人デジタル政策財団  
協賛 公益財団法人電気通信普及財団  
後援 総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、富士通株式会社、日本電気株式会社、株式会社日立製作所、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、日本放送協会、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、一般社団法人電波産業会、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般財団法人情報法制研究所、デジタル政策フォーラム、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

### ○プログラム

開会挨拶 内山隆（情報通信学会 会長／青山学院大学総合文化政策学部 教授）

#### ショートプレゼンテーション

大澤健（総務省情報流通行政局情報流通振興課長）

國領二郎（慶應義塾大学総合政策学部教授）

安野智子（中央大学文学部教授）

#### パネル・ディスカッション

パネリスト：大澤健、國領二郎、安野智子

モデレーター：山口真一（情報通信学会 事業企画委員会 委員／

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授）

### <概要>

本フォーラムでは、デジタル空間における情報流通の課題とその対処法を議論した。

近年における高度情報化の進展に伴い、偽・誤情報や社会の分断といった情報空間の諸課題が、社会に深刻な影響を与えることが危惧されていた。2024年は、それが国内外の選挙活動を通して、非常にわかりやすい形で具現化し、学術だけでなく、政策の場や様々なメディアで大きく注目された。本フォーラムでは、最先端の研究者を招き、情報空間の現状分析と未来の展望、そして効果的な解決策を、自由闊達に議論する場を提供した。

## 2024年度関西大会

開催日程 2025年1月13日(月・祝)  
場所 立命館大学大阪いばらきキャンパス・H棟2階「H221」  
テーマ 「デジタルネイティブ時代の大学における情報通信の教育をめぐって」  
主催 公益財団法人情報通信学会

### ○プログラム

13:00~13:40 立命館大学大阪いばらきキャンパス新棟施設見学会

14:00~17:40 シンポジウム

開会挨拶 内山隆(情報通信学会 会長/青山学院大学教授)

基調講演 高橋利枝(早稲田大学文学学術院教授)

ショートプレゼンテーション

伊藤耕太(博報堂生活総合研究所上席研究員)

岩崎千晶(関西大学教育推進部教授)

熊谷秀之(立命館大学入学センター事務部長)

パネル・ディスカッション

パネリスト : 高橋利枝、伊藤耕太、岩崎千晶、熊谷秀之、

高橋啓爾(西日本電信電話株式会社総務人事部 プロフェッショナル人材部門  
採用人事担当 担当部長)

モデレーター: 北村順生(立命館大学映像学部教授/情報通信学会関西センター委員会副委員長)

閉会挨拶 岡田朋之(情報通信学会 常務理事・関西センター委員会委員長/関西大学教授)

総合司会: 脇浜紀子(京都産業大学現代社会学部 教授/情報通信学会関西センター委員会副委員長)

### <概要>

DX(Digital Transformation)が社会のさまざまなセクターに浸透を見せているが、大学の教育も当然その例外ではない。具体的な局面としてデータサイエンス重視の傾向が進む一方、人工知能(AI)の普及、とりわけ生成系AIの普及と発展への対応も進んでいる。また直近の課題としては大学入試共通テストにも2025年度からの教科「情報」の導入がひかえており、アドミッションにおいて具体的にどのように対応するのか、またプログラミング教育などをすでに受けてきた入学生についてどのようにスキルアップをはかっていくことができるかといった課題も山積している。また、産業界や行政などとの連携、あるいはどのような人材を送り出すのかといった点も問われている。デジタルネイティブ世代が社会的影響力を強めていく時代において、大学におけるICTの教育はどのような方向へ向かっていくべきかについて、各大学での取り組み事例も紹介してもらいながら、今後の望ましい姿の一端を描き出すことを試みた。

## 2024年度 研究会・情報通信ワークショップ開催状況

### <研究会>

- ① **情報社会研究会** (主査: 中村 広幸 幹事: 井村 保・柴田 邦臣) 0回開催
- ② **情報行動研究会** (主査: 松田美佐 幹事: 大野志郎) 2回開催
  - ・2024年6月29日(土) 12:00~13:30 明治大学中野キャンパス  
「子どもへのアンケート調査からみる GIGA スクール構想の課題」  
報告者: 田島祥 (東海大学准教授)、山岡あゆち (東京大学特任講師)、劉沫好 (東京大学博士課程学生)、大野志郎 (東京大学特任准教授)  
討論者: 松本留奈 (ベネッセ教育総合研究所)  
司会者: 大野志郎 (東京大学特任准教授)
  - ・2024年10月19日(土) モバイルコミュニケーション研究会と共催  
「SNS を中心とするメディア利用の現状と課題: 2010年からの継続調査を踏まえて」  
報告者: 小島誠也、水野一成 (NTT ドコモ モバイル社会研究所)  
討論者: 小笠原盛浩 (東洋大学) 司会: 松田美佐 (中央大学)
- ③ **モバイルコミュニケーション研究会** (主査: 藤本憲一 幹事: 富田英典・岡田朋之) 4回開催
  - ・2024年5月26日(日) 13:00~15:00 オンライン開催  
「「インスタ映え」とは何かーメディアと食文化ー」  
報告者: 藤本憲一 (武庫川女子大学教授) 討論者: 吉田達 (東京経済大学非常勤講師)  
司会者: 富田英典 (関西大学)
  - ・2024年6月29日(土) 10:30~12:00 明治大学中野キャンパス  
「リモートエスノグラフィ研究について」  
報告者: 大戸朋子 (東京医科大学) 討論者: 松下慶太 (関西大学)  
司会: 伊藤耕太 (博報堂生活総研)
  - ・2024年10月19日(土) 14:00~17:00 関西大学東京センター  
「SNS を中心とするメディア利用の現状と課題: 2010年からの継続調査を踏まえて」  
報告者: 小島誠也、水野一成 (NTT ドコモ モバイル社会研究所)  
討論者: 小笠原盛浩 (東洋大学) 司会: 松田美佐 (中央大学)
  - ・2024年11月16日(土) 13:00~15:00 オンライン開催  
「Google スケッチと「#先畫再去」: モバイル時代の新しい場所体験と愛着のデザイン」  
報告者: 松原徳和 (旅行画家/Google スケッチャー、昭和女子大非常勤講師)  
討論者: 松下慶太 (関西大学教授) 司会者: 劉雪雁 (関西大学教授)
- ④ **情報知財研究会** (主査: 鈴木雄一 幹事: 玉井克哉) 0回開催
- ⑤ **情報通信経済法学研究会** (主査: 林秀弥 幹事: 福田雅樹) 4回開催
  - ・2024年6月13日(木) 13:00~14:30 オンライン開催 (Zoom Cloud Meetings 使用)  
「復活の米国 2024年ネット中立性ルール」  
報告者: 佐々木勉 (ポリシーリサーチユニット代表・総務省情報通信政策研究所特別研究員)、  
林 秀弥 (名古屋大学) 司会: 林秀弥
  - ・2024年10月3日(木) 14:00~16:00 ハイブリッド開催 (Zoom Cloud Meetings 使用)  
場所: 名古屋大学「アジア法交流館」セミナールーム1  
「SEP (標準規格必須特許) の市場支配力」

報告者：白石幸輔（名古屋商科大学経済学部准教授） 司会者：林秀弥（名古屋大学）

- ・2025年2月20日（木） 14：00～15：30 オンライン開催（Zoom Cloud Meetings 使用）  
「米国でのSEP調査～サンタバーバラでの知財実務家へのヒアリングから～」

報告者：平塚三好（東京理科大学教授） 司会者：林 秀弥（名古屋大学）

- ・2025年2月27日（木） 17：00～18：00 オンライン開催（Zoom Cloud Meetings 使用）  
「ドイツにおけるオンライン・カジノ法制」

報告者：佐々木勉（ポリシーリサーチユニット研究員/総務省情報通信政策研究所特別研究員）

司会者：林 秀弥（名古屋大学）

⑥ コンテンツビジネス研究会（主査：大場吾郎 幹事：田村和人、浅利光昭） 1回開催

- ・2024年6月29日（土）10：30～12：00 明治大学中野キャンパス

「コンテンツとしてのアイドル：可能性と課題」

報告者：香月孝史（日本大学芸術学部非常勤講師）、上岡磨奈（慶應義塾大学文学部非常勤講師）

討論者：関根禎嘉（慶應義塾大学大学院文学研究科） 司会：大場吾郎（佛教大学）

⑦ 災害情報と法と経済に関する研究会（主査：林秀弥 幹事：井上禎男、西澤雅道） 5回開催

- ・2024年7月27日（土）15：00～18：00 オンライン開催（YouTubeによるライブ配信等）

「能登半島地震等の教訓を踏まえた地区防災計画」

※地区防災計画学会シンポジウム（第46回研究会）

登壇者：矢守克也（京都大学）、加藤孝明（東京大学）、磯打千雅子（香川大学）、芝大輔（愛媛大学）、早川直喜（前札幌市危機管理対策室）

総合司会：坊農豊彦（大阪公立大学）、西澤雅道（内閣府）

- ・2024年10月19日（土）16：30～18：00 オンライン開催（中継）と会場（熊本城ホール3階会議室A1）で同時開催（YouTubeによるライブ配信）

「熊本地震とその後の地区防災計画づくり」※地区防災計画学会シンポジウム（第47回研究会）

登壇者：矢守克也（京都大学）、加藤孝明（東京大学）、尾方義人（九州大学）、阪本真由美（兵庫県立大学）、竹内裕希子（熊本大学教授）、西澤雅道（元福岡大学）

総合司会：坊農豊彦（大阪公立大学）

- ・2024年10月20日（日）12：30～14：00 オンライン開催（中継）と会場（熊本城ホール3階会議室A1）で同時開催（YouTubeによるライブ配信）

「火山災害とコミュニティの防災活動」※地区防災計画学会シンポジウム（第48回研究会）

登壇者：中川和之（時事通信社）、矢守克也（京都大学）、阪本真由美（兵庫県立大学）、杉本伸一（雲仙岳災害記念館）、久利美和（文部科学省）、波多江聡（垂水市危機管理監）、五十嵐洋輔（内閣府）

- ・2025年3月1日（土）9：00～17：15 オンライン開催（YouTubeによるライブ配信）

「企業とコミュニティの防災活動—能登半島地震、南海トラフ地震臨時情報発令等を受けた最近の共助の防災活動の動きを踏まえて—」

「阪神・淡路大震災30年を受けた地区防災計画づくりの在り方」

※地区防災計画学会第11回大会

登壇者：後藤隆昭（内閣府）、磯打千雅子（香川大学）、流友之（日本損害保険協会）、坂克人（日本建設業連合会）、和泉崇之（全国共済農業協同組合連合会）

モデレーター：加藤孝明（東京大学） 総合司会：守 茂昭 都市防災研究所

登壇者：室崎益輝（神戸大学）、近藤誠司（関西大学）、大牟田智佐子（毎日放送）、山崎栄一（関西大学）

モデレーター：矢守克也（京都大学）

総合司会：坊農豊彦（大阪公立大学）

⑧ **AI ネットワーク法・政策研究会**（主査：福田雅樹 幹事：成原慧） 1 回開催

・2025年3月10日（月）15：00～17：30

九州大学伊都キャンパス イースト2号館5階 第2研究会室（D-522）

報告1「医療情報データベースの連携に向けた法的課題」

報告者：松瀬萌々香（九州大学大学院）

報告2「法学の方法と人工知能関連技術」 報告者：西村友海（九州大学）

総合討論

司会者：成原慧（九州大学）

討論者：松瀬萌々香（九州大学大学院）、西村友海（九州大学）、福田雅樹（大阪大学）

⑨ **デジタル・エコシステム研究会**（主査：岡田朋之、幹事：長谷川想、北村順生） 1 回開催

・2025年3月3日（月）15:00～17:30 KANDAI Me RISE 関西大学梅田キャンパス4階ラボ

「いま、万博に意味はあるのか？——国際博覧会とICTのこれまでとこれから」

報告者：岡田朋之（関西大学） 討論者：永井純一（関西国際大学）

⑩ **次世代ネット政策研究会**（主査：庄司昌彦、幹事：高口鉄平） 1 回開催

・2024年7月6日（土）

「アテンションエコノミー・偽情報・生成AIを実体験する」

会場：関東学院大学関内キャンパス

参加大学：関東学院大学、明治大学、武蔵大学、静岡大学

・2024年11月30日（土）

「情報通信・次世代ネット政策に関するテーマ自由の研究発表」

会場：明治大学駿河台キャンパス

口頭発表5件、他

参加大学：明治大学、武蔵大学、静岡大学

⑪ **放送制度研究会**（主査：菅谷実 幹事：西岡洋子、米谷南海） 5 回開催

・2024年4月20日（土）

「欧州（EU）のプラットフォーム規制と放送市場への影響」

報告者：神野新（情報通信総合研究所 主席研究員）

・2024年6月29日（土）10：30～12：00

「放送メディア産業における諸課題と展望—韓国」 報告者：黄 仙恵（城西国際大学教授）

「中国の放送制度の発展と歴史—日本との比較」 報告者：劉佳（内江師範学院新聞学院副院長）

・2024年9月14日（土）

「地上波放送の地域性確保 制度変更と評価指標」 報告者：脇浜紀子（京都産業大学）

・2024年12月7日（土）14：30～16：30 オンライン（Zoom Cloud Meetings 使用）

「公共放送のオンライン・コンテンツをめぐる紛争と調停手続 公共放送（SWR）のニュースアプリ「Newszone」の適法性をめぐる判例の分析を中心として」

報告者：杉原周治（愛知県立大学）

「フランス放送制度の新展開—フランス議会下院文化教育委員会『公共放送の将来に関する調査報告書』（2023年6月7日）を素材として—」 報告者：波多江悟史准教授（愛知学院大学）

・2025年1月18日（土）

「生成AIの利活用と放送コンテンツ制作」 報告者：華金玲（慶應義塾大学）

⑫ **インターネット政治研究会**（主査：清原聖子 幹事：前嶋和弘、小笠原盛浩） 2 回開催

- ・2024年6月29日(土) 12:00~13:30 明治大学中野キャンパス  
「インターネット上の偽・誤情報に関する総務省の主な取組」  
報告者：恩賀一(総務省情報流通行政局)  
「もう一つの偽情報対策―流言は知者に止まる」  
報告者：田中辰雄(横浜商科大学/国際大学 GLOCOM)  
討論者：前嶋和弘(上智大学)、小笠原盛浩(東洋大学) 司会者：清原聖子(明治大学)
- ・2024年10月26日(土) 14:30~16:45 オンライン (Zoom Cloud Meetings 使用)  
「生成AI時代の米韓における選挙と Disinformation 問題」  
「AI in the 2024 American Presidential Election」  
報告者：Diana Owen (Georgetown University)  
「2024年韓国の総選挙における disinformation の問題と政治の二極化」  
報告者：高選圭(福島学院大学教授)  
コメンテーター：前嶋和弘(上智大学)、小笠原盛浩(東洋大学) 司会：清原聖子(明治大学)

#### <情報通信ワークショップ>

##### 第1回情報通信ワークショップ

「コンテンツ産業におけるAI関連ソフトローとゲーム産業での利活用」

日時：2024年4月18日(月) 17:30~19:00

会場：東京ポートシティ竹芝オフィスタワー8F CiP

登壇者：内山 隆(情報通信学会 会長/青山学院大学総合文化政策学部総合文化政策学科 教授)

森川幸人(モリカトロン株式会社 代表取締役/モリカトロン AI 研究所 所長)

里宗巧麻(Klab 株式会社)

モデレーター：菊池尚人(情報通信学会 常務理事/CiP 協議会専務理事)

##### 第2回情報通信ワークショップ「大規模言語モデルのコンテンツビジネスへの活用」

日時：2024年5月9日(木) 17:30~19:00

会場：Deloitte Tohmatsu Innovation Park

登壇者：宮崎昇(NTT 人間情報研究所 思考処理研究プロジェクト プロジェクトマネージャ)

関根聡(理化学研究所 革新知能統合研究センター 目的指向基盤技術研究グループ

言語情報アクセス技術チーム チームリーダー)

花光宣尚(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任助教)

中村伊知哉(CiP 協議会 理事長)

モデレーター：菊池尚人(情報通信学会 常務理事/CiP 協議会専務理事)

##### 第3回情報通信ワークショップ「放送コンテンツにおけるAI活用」

日時：2024年6月18日(火) 17:30~19:00

会場：東京ポートシティ竹芝オフィスタワー8F CiP

登壇者：篠田貴之(日本テレビ放送網株式会社 技術統括局 デジタルコンテンツ制作部)

森山顕矩(株式会社テレビ朝日 技術局技術運用センター)

花光宣尚(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任助教)

モデレーター：菊池尚人(情報通信学会 常務理事/CiP 協議会専務理事)

##### 第4回情報通信ワークショップ「音声メディアにおけるAI活用」

日時：2024年7月24日(水) 17:00~18:00

会場：東京ポートシティ竹芝オフィスタワー8F CiP

登壇者：井島勇祐（NTT 人間情報研究所 特別研究員）

鬼頭武也（YouTube Japan / Google ディレクター/日本音楽パートナーシップ統括責任者）

花光宣尚（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任助教）

モデレーター：菊池尚人（情報通信学会 常務理事/CiP 協議会専務理事）

#### 第5回情報通信ワークショップ「AI×コンテンツ ビジネスマッチング」

日時：2024年10月10日（水） 17:00～20:00

会場：東京ポートシティ竹芝オフィスタワー8F CiP

##### ○AI 関連ホットトピック

花光宣尚（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任助教）

##### ○基調講演

曾和小百合（経済産業省 商務・サービスグループ 文化創造産業課）

内山隆（情報通信学会 会長/青山学院大学総合文化政策学部総合文化政策学科 教授）

菊池尚人（情報通信学会 常務理事/デジタル政策財団 理事）

##### ○AI×コンテンツ ビジネスマッチング

松原冬樹（Arrowheads 株式会社代表取締役）

岡田侑貴（株式会社データグリッド代表取締役 CEO）

林範和（株式会社バルス CEO）

#### 第6回情報通信ワークショップ「AIのトラストとクリエイション」

日時：2025年1月30日（木） 17:00～18:00

会場：東京ポートシティ竹芝オフィスタワー8F CiP

##### ○AI 関連ホットトピック

花光宣尚（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任助教）

##### ○音響透かしと音響フィンガープリントを用いた偽・誤情報対策クラウドシステムについて

瀧川淳（エヴィクサー株式会社代表取締役社長 CEO）

##### ○AI×コンテンツ連携ハッカソン「GIFTech AI デビューFES」のご案内

大泉共弘

（株式会社レアゾン・ホールディングス R2C 室長シニア・クリエイティブディレクター）

#### 第7回情報通信ワークショップ

##### 「AIに関するグローバル・パートナーシップと若手AIスタートアップの動向」

日時：2025年3月7日（金） 17:00～18:15

会場：東京ポートシティ竹芝オフィスタワー8F CiP

##### ○プレゼンテーション「AIに関するグローバル・パートナーシップ（GPAI）の活動について」

柴崎哲也（情報通信研究機構 執行役（GPAI 担当））

##### ○パネルディスカッション「若手AIスタートアップの動向など」

松原冬樹（Arrowheads 株式会社代表取締役）、高木志郎（Unktok 代表）、

岩切秀規（Mavericks Inc. Co-Founder）

モデレーター：菊池尚人（情報通信学会 常務理事/CiP 協議会専務理事）

#### 第8回情報通信ワークショップ「全編生成AIによる映画制作とAI法の現在」

日時：2025年3月28日（金） 17:00～18:00

会場：東京ポートシティ竹芝オフィスタワー8F CiP

##### ○AI 関連ホットトピック

花光宣尚（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任助教）

○「AI映画の制作過程と生成AI映画の最新の動向」

山口ヒロキ（ガウマピクス株式会社所属 映画監督）

○AI法案について

菊池尚人（情報通信学会 常務理事/CiP 協議会専務理事）

別紙 5

### 情報通信学会誌（第42巻第1号～第42巻第4号）

#### 情報通信学会誌第42巻第1号 通算第150号（第2号と合本）

特集 2023年度関西大会

掲載寄稿論文

- ・「国連スマート地図・自由で開かれた地理空間情報コミュニケーションのために」（藤村英範）

掲載研究会報告

- ・モバイルコミュニケーション研究会「自閉症スペクトラムと仮想空間」

#### 情報通信学会誌第42巻第2号 通算第151号

掲載論文

- ・「インターネット上の誹謗中傷と侮辱罪に関する調査研究」（塚原康博、平山朝之）

特集 2024年度春季（第50回）情報通信学会大会／国際コミュニケーション・フォーラム

掲載寄稿論文

- ・「EUデジタル市場法（DMA）初期の運用と示唆」（王 威駟）

掲載研究会報告

- ・コンテンツビジネス研究会「コンテンツとしてのアイドル：可能性と課題」

#### 情報通信学会誌第42巻第3号 通算第152号（第4号と合本）

掲載寄稿論文

- ・「カナダ消費者プライバシー保護法案（CPPA）におけるこどもの保護」（鈴木 康平）

掲載研究会報告

- ・モバイルコミュニケーション研究会「位置情報データからみえる「移動と幸せ」の関係」

#### 情報通信学会誌第42巻第4号 通算第153号

特集 2024年度秋季（第51回）情報通信学会大会

掲載論説

- ・「臨時災害放送局の開設訓練—全国における実施状況—」（松浦 哲郎）

掲載寄稿論文

- ・「生成AI時代の2024年アメリカ大統領選挙」（清原 聖子）

掲載研究会報告

- ・モバイルコミュニケーション研究会

「Googleスケッチと「#先畫再去」：モバイル時代の新しい場所体験と愛着のデザイン」

英文ブックシリーズ「Advances in Information and Communication Research」

第6巻

Book Title: The Impact of Cloud Computing on the Japanese Macroeconomy

Author: Atsushi Ozu

-Ministry of Internal Affairs and Communications Tokyo, Japan

-Institute for Digital Society, Waseda University Tokyo, Japan

Publisher: Springer

Publication Date: November 2024

**About this book:**

This book focuses on the economic aspects of cloud computing, a critical ICT infrastructure in our digital age. The market for cloud computing is rapidly expanding and changing the nature of business in all industries. This book estimates and analyzes the impact of the diffusion of cloud computing on the Japanese macroeconomy, employing model-based simulations.

Cloud computing services are being provided not only as simple data storage services but also as various value-added services. The market has shifted to an oligopoly, with a limited number of big-name global firms as the main players. This book quantitatively estimates the impact of this shift on Japan's utility-based social welfare.

The book also discusses public policy measures that can enhance free competition in a cloud computing market with oligopolistic characteristics. One aim of this book is to provide policymakers and researchers with fundamental data and an analytic approach that can be used to formulate public policy around cloud computing in terms of both regulation and market promotion.

**TABLE OF CONTENTS**

Introduction

Prior Studies

Industry Analysis of Cloud Computing

Impact of Cloud Computing Advancement on GDP

Impact of Cloud Computing Regulations on Social Welfare

Conclusion

2023 年度（第 25 回）情報通信学会論文賞

優秀賞 1 論文

第 41 巻 1 号（146 号）掲載論文（2023 年 6 月発行）

「プライバシー説明の表示方法がアプリ利用者の理解度及び利用意向に与える影響の実証分析」  
大磯一（慶應義塾大学）、依田高典（京都大学）、黒田敏史（東京経済大学）

受賞理由：デジタル ID に紐づいたリアルワールドデータ利活用促進の阻害要因の 1 つである、データ主体の認識や同意プロセスのデザインという、現在重要性が高まっている課題に対し、情報提示形態の精緻な細分化と調査設計により、理解度の向上と利用促進を並立させるための条件提示なされている点で高く評価できる。介入実験設計の新規性も評価要因であることから、優秀賞に該当する論文と評価した。

佳作 1 論文

第 41 巻 3 号（148 号）掲載論文（2023 年 12 月発行）

「アジア諸国における周波数割当政策と移動体通信事業者の効率性分析」  
近藤勝則（早稲田大学大学院）

受賞理由：周波数政策が移動体通信事業者の効率性に与える影響という社会的意義が大きい課題に対し、一定の信頼性がある形で分析を行い、結果も簡潔に纏められていることから、佳作に該当する論文と評価した。

## 評議員会及び理事会の開催

### <評議員会>

#### 第36回評議員会

日 時：2024年6月5日（水）14：00～14：35

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本評議員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：（評議員）神野新、川崎賢一、児玉俊介、西田好輝、林秀弥、北條仁康、廣松毅、  
山下東子（理事）内山隆、鈴木茂樹（監事）後藤篤二、山條朋子

議 案：

1. 2023年度事業報告について
2. 2023年度決算報告について
3. 2024年度事業計画及び2024年度収支予算について

報告事項：

1. 業務執行状況報告

#### 第37回評議員会

日 時：2025年1月16日（木）13：00～13：37

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

出席者：（評議員）井上泰浩、神野新、川崎賢一、児玉俊介、北條仁康、廣松毅、  
山下東子、山田肇（理事）内山隆、鈴木茂樹（監事）後藤篤二、山條朋子

議 案：

1. 2025年度における理事の任期満了に伴う次期理事選任の実施要項
2. 理事選挙管理委員の指名
3. 2025年度における一部評議員の任期満了に伴う次期評議員選任の実施要項
4. 評議員候補者選考委員の指名
5. 評議員の辞任について
6. 公益事業促進基金への積立について
7. 周年事業基金への積立について

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

## <理事会>

### 第 81 回理事会

日 時：2024 年 5 月 20 日（月）18：00～19：00

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：(理事) 内山隆、飯塚留美、河合伸悟、河島伸子、菊池尚人、木村幹夫、小泉真理子、高口鉄平、三本松憲生、宍倉学、新保史生、鈴木茂樹、田中絵麻、三友仁志、村上陽亮、渡辺健策 (監事) 後藤篤二、山條朋子

議 案：

1. 2023 年度事業報告について
2. 2023 年度決算報告について
3. 2024 年度定時評議員会の招集
4. 2023 年度（第 25 回）情報通信学会論文賞の決定
5. 「情報通信学会誌」投稿規程の改訂について
6. 新規研究会の設置
7. 入会承認及び退会報告
8. 終身会員の承認

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

### 第 82 回理事会

日 時：2024 年 9 月 13 日（金）15：00～16：00

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：(理事) 内山隆、岡田朋之、河合伸悟、菊池尚人、木村幹夫、小泉真理子、高口鉄平、三本松憲生、宍倉学、実積寿也、庄司昌彦、鈴木茂樹、田中絵麻、松前恵環、三友仁志、村上陽亮、渡辺健策、(監事) 後藤篤二、山條朋子

議 案：

1. 委員会委員の交代について
2. 2024 年度秋季情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムについて
3. 次年度以降の情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムについて
4. 英文ブックシリーズの原稿募集について
5. 正会員表彰受賞者について
6. 入会承認及び退会報告

報告事項：

1. 業務執行状況の報告
2. 他団体との共催及び協賛について

## 第 83 回理事会

日 時：2024 年 12 月 25 日（水）18：00～18：36

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：(理事) 内山隆、岡田朋之、河合伸悟、菊池尚人、河島伸子、木村幹夫、小泉真理子、  
高口鉄平、宍倉学、実積寿也、新保史生、鈴木茂樹、田中絵麻、三友仁志、村上陽亮、  
渡辺健策 (監事) 後藤篤二、山條朋子

議 案：

1. 公益事業促進基金への積立について
2. 周年事業基金への積立について
3. 第 37 回（臨時）評議員会の招集について
4. 入会承認及び退会報告

検討事項：

1. 2025 年度事業計画と予算について

報告事項：

1. 業務執行状況の報告
2. 他団体への後援について

## 第 84 回理事会

日 時：2025 年 3 月 17 日（月）10：00～11：06

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：(理事) 内山隆、飯塚留美、岡田朋之、河合伸悟、河島伸子、菊池尚人、小泉真理子、  
高口鉄平、宍倉学、庄司昌彦、鈴木茂樹、三友仁志、村上陽亮、渡辺健策  
(監事) 後藤篤二、山條朋子

議 案：

1. 2025 年度事業計画について
2. 2025 年度収支予算について
3. 役員、評議員及び職員の国内出張旅費に関する規則の改正について
4. 職員の特別手当の支給について
5. 入会承認及び退会報告

報告事項：

1. 業務執行状況の報告
2. 資金運用状況の報告

## <常任理事会>

### 第 28 回常任理事会

日 時：2024 年 8 月 27 日（火）18：00～19：24

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本常任理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：内山隆、鈴木茂樹、三友仁志、菊池尚人、新保史生、田中絵麻、宍倉学

議 案：

1. 2024 年度秋季情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムについて
2. 次年度以降情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムについて
3. 英文ブックシリーズについて
4. 今後の学会運営について
5. 第 82 回理事会議案について
6. 他団体との共催について

### 第 29 回常任理事会

日 時：2024 年 11 月 18 日（月）9：00～10：30

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本常任理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：内山隆、実積寿也、鈴木茂樹、三友仁志、岡田朋之、菊池尚人、新保史生、田中絵麻

議 案：

1. 2024 年度第 51 回国際コミュニケーション・フォーラムについて
2. 2025 年度第 52 回情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムについて
3. 国立大学教育研究評価委員会専門委員及び機関別認証評価委員会専門委員の候補者の推薦について
4. 第 83 回理事会議案について

## 委員会等の開催

### <研究企画委員会>

#### 第 1 回研究企画委員会

日 時：【第 1 回】2024 年 4 月 8 日（月）17：00～18：00

【第 2 回】2024 年 4 月 12 日（金）10：30～11：30

場 所：公益財団法人 情報通信学会事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：【第 1 回】田中絵麻、庄司昌彦

【第 2 回】田中絵麻、飯塚留美、三本松憲生、平井智尚、村上陽亮

議 案：

1. 2024 年度春季学会大会個人研究発表について
2. 新規研究会募集について
3. その他

#### 第 2 回研究企画委員会

日 時：2024 年 7 月 25 日（木）9：00～10：00

場 所：公益財団法人 情報通信学会事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：田中絵麻、庄司昌彦、飯塚留美、三本松憲生、平井智尚、村上陽亮

議 案：

1. 2024 年度春季学会大会アーリーバード発表賞について
2. 2024 年度秋季学会大会について
3. その他

#### 第 3 回研究企画委員会

日 時：2024 年 10 月 17 日（木）13：00～15：00

場 所：公益財団法人 情報通信学会事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：田中絵麻、庄司昌彦、飯塚留美、三本松憲生、平井智尚、村上陽亮

議 案：

1. 2024 年度秋季学会大会について

#### 第 4 回研究企画委員会

日 時：2024 年 12 月 27 日（金）13：00～13：30

場 所：公益財団法人 情報通信学会事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：田中絵麻、庄司昌彦、飯塚留美、三本松憲生、平井智尚、村上陽亮

議 案：

1. 2024 年度秋季学会大会アーリーバード発表賞について

## <事業企画委員会>

### 第1回事業企画委員会

日 時：2024年9月9日（月）

場 所：メーリングリストによる書面会議

出席者：内山隆、菊池尚人、奥律哉、木村幹夫、高橋知樹、田村和人、中井秀範、前村昌紀、  
山口真一、渡辺健策

議 案：

1. 2024年度秋季（第51回）国際コミュニケーション・フォーラムの主テーマ変更について

### 第2回事業企画委員会

日 時：2024年11月25日（月） 12:00～13:00

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：内山隆、菊池尚人、奥律哉、木村幹夫、高橋知樹、田村和人、山口真一、渡辺健策

議 案：

1. 2024年度第51回国際コミュニケーション・フォーラムについて
2. 2025年度事業計画について

## <編集委員会>

### 第1回編集委員会

日 時：2024年5月9日（木） 18:00～19:20

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：新保史生、赤坂良太、岡村優希、海後宗男、河合伸悟、河島伸子、栗原佑介、桑原俊、  
小泉真理子、高口鉄平、斉藤邦史、齋藤長行、宍倉学、橘雄介、八田真行、深見嘉明、  
村上康二郎、湧口清隆

議 案：

1. 2023年度（第25回）情報通信学会論文賞候補論文について
2. 「情報通信学会誌」投稿規程の改訂について
3. 学会誌9月号寄稿論文について

検討事項：

1. 学会誌6月号査読状況について

### 第2回編集委員会

日 時：2024年6月12日（水）

場 所：メーリングリストによる書面会議

出席者：新保史生、赤坂亮太、井上禎男、岡村優希、海後宗男、勝又壮太郎、上村圭介、河合伸悟、  
河井理穂子、河島伸子、清原聖子、栗原佑介、桑原俊、小泉真理子、高口鉄平、斉藤邦史、  
齋藤長行、宍倉学、橘雄介、八田真行、深見嘉明、藤代裕之、松前恵環、村上康二郎、  
湧口清隆

議 案：

1. 学会誌 151 月号投稿論文の担当委員の選出について

### 第 3 回編集委員会

日 時：2024 年 9 月 19 日（木）

場 所：メーリングリストによる書面会議

出席者：新保史生、赤坂亮太、井上禎男、岡村優希、海後宗男、勝又壮太郎、上村圭介、河合伸悟、河井理穂子、河島伸子、清原聖子、栗原佑介、桑原俊、小泉真理子、高口鉄平、斉藤邦史、齋藤長行、宋倉学、橘雄介、八田真行、深見嘉明、藤代裕之、松前恵環、村上康二郎、湧口清隆

議 案：

1. 学会誌 152 月号投稿論文の担当委員の選出について
2. 学会誌 152 号学会誌担当委員について

報告事項：

1. 学会誌 151 号掲載予定記事について
2. 学会誌 151 号査読状況について

### 第 4 回編集委員会

日 時：2024 年 12 月 23 日（月）

場 所：メーリングリストによる書面会議

出席者：新保史生、赤坂亮太、井上禎男、岡村優希、海後宗男、勝又壮太郎、上村圭介、河合伸悟、河井理穂子、河島伸子、清原聖子、栗原佑介、桑原俊、小泉真理子、高口鉄平、斉藤邦史、齋藤長行、宋倉学、橘雄介、八田真行、深見嘉明、藤代裕之、松前恵環、村上康二郎、湧口清隆

議 案：

1. 学会誌 153 月号投稿論文の担当委員の選出について

報告事項：

1. 学会誌 152 号掲載予定記事について

### 第 5 回編集委員会

日 時：2025 年 3 月 19 日（水）

場 所：メーリングリストによる書面会議

出席者：新保史生、赤坂亮太、井上禎男、岡村優希、海後宗男、勝又壮太郎、上村圭介、河合伸悟、河井理穂子、河島伸子、清原聖子、栗原佑介、桑原俊、小泉真理子、高口鉄平、斉藤邦史、齋藤長行、宋倉学、橘雄介、八田真行、深見嘉明、藤代裕之、松前恵環、村上康二郎、湧口清隆

議 案：

1. 学会誌 154 月号投稿論文の担当委員の選出について
2. 2024 年度論文賞受賞候補論文の募集について

報告事項：

1. 学会誌 153 号査読状況について

## 2. 学会誌 152 号・153 号（合本号）について

### <関西センター委員会>

#### 第 1 回関西センター委員会

日 時：2024 年 8 月 8 日（木）10：00～10：55

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：岡田朋之、河村康司、北村順生、谷村要、松下慶太、脇浜紀子

議 案：

1. 委員の交代予定について
2. 2024年度関西大会について
3. 2024年度研究会について

#### 第 2 回関西センター委員会

日 時：2024年12月4日（水）16：30～17：30

場 所：Zoomによるオンライン会議

出席者：岡田朋之、北村順生、脇浜紀子、河村康司、谷村要、長谷川想、松下慶太、山本大典

※河村委員は16時59分より出席

議 案：

1. 2024年度関西大会について
2. 2024年度研究会について
3. 2025年度関西大会について

#### 第 3 回関西センター委員会

日 時：2025年3月3日（月）13：30～14：30

場 所：関西大学梅田キャンパス 4階ラボ 及び Zoom によるオンライン会議

出席者：岡田朋之、河村康司、谷村要、山本大典

議 案：

1. 2025年度関西大会について
2. 2025年度研究会について

### <英文ブックシリーズ編集委員会>

#### 第 1 回英文ブックシリーズ編集委員会

日 時：2024 年 9 月 13 日（金）14:30～14:50

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：三友仁志、内山隆、川崎賢一、木村幹夫、実積寿也、富田英典、林秀弥

議 案：

1. 英文ブックシリーズ出版募集対象の拡大について

#### 第 2 回英文ブックシリーズ編集委員会

日 時：2024年11月26日（木）

場 所：Zoomによるオンライン会議

場 所：メーリングリストによる書面会議

出席者：三友仁志、今川拓郎、内山隆、川崎賢一、木村幹夫、実積寿也、新保史生、富田英典、  
中村彰宏、林秀弥、森川博之

議 案：

1. 新規プロポーザルについて